

焦点

「基金」って何ですか？

基金とは、市の「貯金」に当たるものです。貯金があれば、収入が見込みより少なかった場合でも、赤字を補うことができ、突然の支出にも対応ができます。また、積み立てた貯金を将来、事業の財源に活用することも可能となります。安定した財政運営を行うために基金はとても重要です。

鉏路市にはどのような「基金」があるのですか？

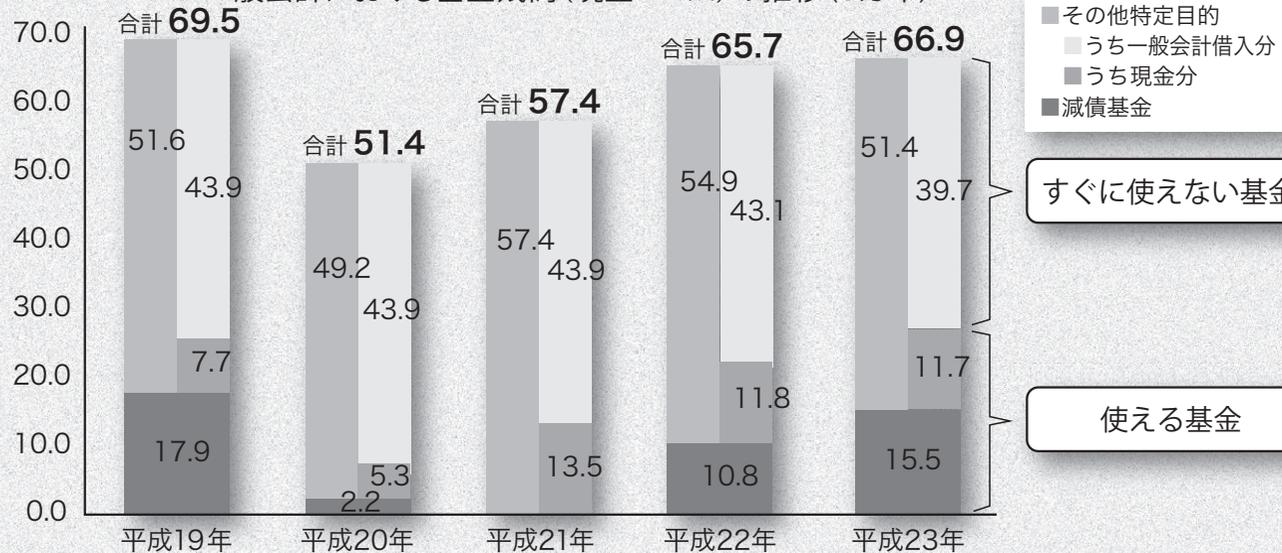
地域の活力を創造する等、さまざまな地域振興につながる事業を行うために積み立てる「地域振興基金」や、スポーツの普及振興等のために積み立てる「スポーツ振興基金」、奨学金貸与のために積み立てる「育英基金」など、一般会計で合わせて23の基金があります。

残高はどのくらいあるのですか？

平成23年度末の基金残高（現金ベース）は、約66.9億円です。決算の好転に伴い、減債基金への積み立てを増額したことなどから、この3年間は基金残高が増加していますが、防災・減災対策など新たな支出への対応も必要となっており、安定した財政運営を行うためには、まだまだ安心できる状況ではありません。

また、収支不足を補うために一般会計が基金の一部を長期で借り入れていることから、取り崩して使うことができる残高は約27.2億円となっています。

(単位：億円) 一般会計における基金残高（現金ベース）の推移<5カ年>



すぐに使えない基金

使える基金

11月号では、市の借金である「市債」について取り上げましたが、12月号では、市の貯金に当たる「基金」についてご説明します。



問合せ先 市役所財政課 (☎31-4512)